

福田改造内閣発足についての会頭コメント

福田首相が独自色を示された今回の改造内閣は、経済関係の主要ポストに経験豊かな方を配置し、麻生幹事長を党役員に加えたことで国会運営と選挙対策に重点をおいた挙党体制を明確にした安定感のある人事となった。

福田首相には、ねじれ国会の中で引き続き政権運営は困難を強いられるだろうが、自らの組閣による強いリーダーシップを発揮され、国民への丁寧な説明と野党との粘り強い議論を通じて、臨時国会に臨んでもらいたい。

消費者庁創設や社会保障制度、地球温暖化防止対策、新テロ対策特別措置法延長など内政、外交の重要課題が山積しているが、当面の原油・原材料高騰対策など生活者の視点に十分配慮すると同時に、日本再生のために国のあり方を問う地域主権の分権型社会に向けた取り組み、さらには中小企業など地域経済活性化に向けた経済成長政策に対しても、スピード感を持って取り組まれない。

また、京都選出の伊吹議員、谷垣議員が改革推進の上で重要な閣僚に選任されたことは、地元として喜ばしい限りであり、活躍を期待している。

2008年8月1日
京都商工会議所
会頭 立石義雄